

恵庭市立柏陽中学校 1 日防災学校実施報告

● 恵庭市立柏陽中学校のコンセプト

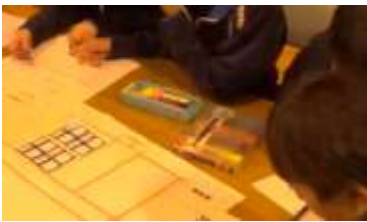
- これまでの防災への知識をより高め、実践へと結びつける。(情報活用力)
- 地域自治体やコミュニティースクールとも関連させ、防災についての意識を高め、ともに協力することの意義を考えさせる。(協働性)
- 地域防災への協力のための、日常的な地域ボランティアについて考えさせる。(自主性)

● 時間割

- 1 時限 南西沖地震紙芝居「あの坂へいそげ」(1～3 年：総合的な学習の時間)
- 2 時限 Do はぐ体験(～3 時限)(1 年：総合的な学習の時間)
災害対応車の見学・体験(2 年：総合)
災害食づくり(～3 時限)(3 年：総合)
- 3 時限 災害時の情報モラル教室(2 年：総合)
- 5 時限 リアルDo はぐ(～6 時限)(1 年：総合)

〔連携・協力〕

北海道開発局、陸上自衛隊、北海道警察、恵庭市消防本部、西胆振行政事務組合消防本部、ソフトバンク、北海道防災教育アドバイザー三浦 浩、北海道防災教育アドバイザー根本 昌宏、北海道地域防災マスター、恵庭市民生委員

① 南西沖地震紙芝居 	② Do はぐ体験 	③ 災害対応車の見学・体験 
④ 災害食づくり 	⑤ 災害時の情報モラル教室 	⑥ リアルDo はぐ 

恵庭市立柏陽中学校 「1日防災学校」

【日 程】

		1学年	2学年	3学年
1	教科	全校避難訓練		全校避難訓練
	内容	【講 話】 命を守る大切さを語りつなぐ 代表 三浦 弘 氏(北海道防災教育アドバイザー)		
	場所	体育館		
8:40 ~ 9:30				
2	教科	総合	総合	総合
	内容	【北海道版「DOIはぐ」体験】 講師 根本 昌宏 氏 (北海道防災教育アドバイザー) 協力 地域防災マスター12名 恵庭市 基地防災課	【災害対策車などの見学,体験学習】 協力 伊達消防・恵庭消防・警察 自衛隊・北海道開発局	【防災食調理体験】 講師 根本 昌宏 氏 (北海道防災教育アドバイザー) 協力 栄養教諭・民生委員 メニュー ご飯、卵料理ほか
	場所	体育館	学校前庭・グラウンド等	家庭科室・被服室
9:40 ~10:30				
3	教科	総合	総合	総合
	内容	【北海道版「DOIはぐ」体験】 講師 根本 昌宏 氏 (北海道防災教育アドバイザー) 協力 地域防災マスター12名 恵庭市 基地防災課	【災害時の情報モラル教室】 講師 東 朱里 氏 (ソフトバンク)	【防災食調理体験】 講師 根本 昌宏 氏 (北海道防災教育アドバイザー) 協力 栄養教諭・民生委員 メニュー ご飯、卵料理ほか
	場所	体育館	視聴覚室	家庭科室・被服室
10:40 ~11:30				
*	教科		帰り学活・下校	帰り学活・下校
給食	教科	【炊き出し車による配給】 調理、提供 自衛隊 協力 PTA、民生委員、CS等 メニュー ○カレーライス	※起震車などの体験・見学は15:30をめぐりに 放課後まで見学可能です。	
	場所	テニスコート横および体育館		
11:40 ~12:30				
5	教科	総合		
	内容	【避難所運営ロールプレイ学習】 「リアルDOIハグ」 講師 根本 昌宏 氏 (北海道防災教育アドバイザー) 協力 地域防災マスター12名 恵庭市 基地防災課		
	場所	体育館		
12:45~				
6	教科	総合		
	内容	【避難所運営ロールプレイ学習】 「リアルDOIハグ」 講師 根本 昌宏 氏 (北海道防災教育アドバイザー) 協力 地域防災マスター12名 恵庭市 基地防災課		
	場所	体育館		
: ~14:45		講師等		

1 日防災学校 指導案（略案）

期 日 平成30年10月20日（土）

場 所 恵庭市立柏陽中学校

生 徒 1 学年： 84 名

2 学年： 94 名

3 学年： 80 名 （合計）258 名

講 師 土屋 氏

根本 昌宏氏（防災教育アドバイザー）

三浦 浩 氏

防災担当 高橋真吾

岡本 真（1 年）高橋健一（2 年）

宮内絹代（3 年）

1 題 材 「保護者・地域と協働した防災教育構想」

- 2 ね ら い
- ・これまでの防災への知識をより高め、実践へと結びつける。（情報活用力）
 - ・地域自治体やコミュニティースクールとも関連させ、防災についての意識を高め、ともに協力することの意義を考えさせる。（協働性）
 - ・地域防災への協力のための、日常的な地域ボランティアについて考えさせる。（自主性）

3 防災教育で育成したい（身につけさせたい）資質・能力

主体的な学び：災害を想定し、自分ができることを考え、的確に判断し行動することができる。

＜見通しをもって活動している＞

対話的な学び：災害時の課題に対応した「生きる力」や思いやりの心と協働しようとする姿勢をもつ。

＜共に課題を解決している＞

深い学び：習得した知識を活用し、ボランティア活動など、ふるさとを愛し、ふるさとに生きる姿勢を育む

＜知識を習得・活用している＞

4. 1 校時 避難訓練および講話

(1) 想 定 地震（千歳市付近の震源 震度6強）

(2) 避難場所 本校体育館

(3) 業務分担

内 容	担 当 者
計時	教頭
出席黒板記入	各学級担任
赤い旗、放送機器	延与・難波
放送装置の確認、緊急地震速報協議会申請、緊急放送	高橋真
朝の会	各担任
避難誘導	1 階：難波 2 階：岡本・小泉 3 階： <u>小野寺</u>
学年棟検索	1 階：柴田 2 階：岡本・小泉 3 階： <u>小野寺</u>
非常持出 出席簿持出	和田
避難時の状況観察・指導	北階段前 難波 南玄関前 <u>小野寺</u>
人数確認・教頭先生に報告	代表委員→担任→教頭
集会の進行	高橋真

(4) 訓練内容 ★…実施内容 ○…生徒へ指導する内容

時刻	内 容	備考（担当）
朝の会 8:10	※朝読書カット！ ★学級で事前指導（shake out 掲示を使用） 1 地震発生時の対応 shake out の徹底 （１）DROP! 姿勢を低く （２）COVER! 体・頭を守って （３）HOLD ON! じっとして →隠れているときの机が飛ばされないようにしっかり支える。 机がない場合はその場に座り体や頭を守る。 つり下がっている照明等の下から避難する。 体育館にいる場合は体育館の非常口を使用する 2 避難中の行動 「押さない・走らない・しゃべらない」の徹底 3 代表委員の役割 避難後に点呼し、担任に報告する。 4 1日防災学校の一環として行うことを周知 実際の災害時のことを、考えながら行動することが大切	学級担任
8:15 頃	★緊急校内放送 ①緊急地震速報を放送 地震発生 ②緊急放送 「緊急放送です。姿勢を低くして、体や頭を守り、揺れが収まるまで動かないください。」 ○机の下にかくれて、頭と体を守らせる。 ○自分がかくれている机等が吹っ飛ばないように、支えさせる。 ○次の放送をだまって聞かせる姿勢 「緊急放送です。揺れがおさまりました。先生の指示に従って、私語をせず、体育館へ避難してください。」 →計時スタート（避難完了まで） ★非常持出（出席簿）	高真 高真 学級担任 高真 教頭 和田
8:18	★避難開始 ○窓、教室の出入り口は開けておくこと ・担任は人数を確認し、廊下に整列させる ○代表委員が先頭、生活委員が最後尾でつき、男女各一列 ・担任は列の先頭につく。 ・避難誘導係の指示で避難を開始する ○外に出たら、駆け足で移動させる ※学年棟検索：各階の状況を確認（トイレ・特別教室等も）	学級担任 （2-3 高橋健） 学級担任 誘導 1 階：難波 2 階：岡本 3 階：小野寺 検索 1 階：柴田 2 階：岡本 3 階：小野寺
8:25	★避難完了 ・避難場所へは到着順に、赤旗を中心に並ばせる。 腰を下ろして待機させる。 ○しゃべらないことの徹底 ・速やかに人数確認 ○代表委員による点呼、及び担任による再確認	学級担任

	★避難完了報告 代表委員→学級担任→教頭 ・教科担任が教頭へ報告 「〇年〇組 男子〇名 女子〇名 異常無し」 ・学年棟検索者は検索状況を教頭に報告。	学級担任 ↓ 教頭
8:28	★集会 ①避難に要した時間について（簡単に・・・） ②講評および恵庭市長あいさつ ③（諸連絡） ④講師紹介および講話	進行：高真 教頭 校長・恵庭市長 高橋真 校長
8:45	★講師講話 紙芝居予定 お礼の言葉 生徒会代表（ ） 新生徒会から	三浦 浩 氏
9:30～ 9:40～	休 憩（休み時間） 全校生徒 一旦退場（1年→2年→3年の順） ※1年生は南階段から上がり、教室でイスをとって、北階段を使って体育館へ戻る。 ※2年生は、前庭と視聴覚室のグループに、それぞれ分かれて、現地集合 ※3年生は、調理室にエフロンなどを持参し、集合 休憩後 1年生→イスなど会場準備体育館（DOはぐ） 2年生→前庭で地震車等体験ローテーション 3年生→家庭科室&被服室で防災食調理体験	退場指示（高真）

5-1 1年生 展 開 案 「DOはぐ」2コマ

※「DOはぐ」を実施する12グループを編成し、防災マスター支援のもと、活動を行う。

	学習活動	教師の支援と留意点	評価
つかむ 30分	・避難所運営は、どのように行われているかを考える。 ○講師紹介 【防災担当】 「北海道版DOはぐ」の説明 ・DOはぐの想定 冬、停電、断水など ・避難所（体育館の居住区割りなど） ・避難所運営の考え方を学ぶ	<u>1年生なので、細かな設定記録の取り方やヒントなど入れてもらう。</u> 講師 根本さん 恵庭市基地防災担当 【 】 防災マスター12名（予定）	
考える 50分	・防災マスターおよび教師のリードでDOはぐを進めていく。 ・リーダーを中心として、避難所運営のシミュレーション	※ある程度議論させ、納得のできる方法で進めさせる。	
まとめ 10分	・基地防災担当者の方からまとめ ・茶園さん（防災マスター）お話 ・生徒代表のお礼の言葉1組【代表委員】	・避難所運営に関わる留意点などのお話 ・今回の避難所運営の成果や課題、中学生に協力してほしいことなど	

【準備】

☆グルーピング 各クラス4グループ【リーダー（代表者）、副リーダー、記録係、その他】 1班6～7人

○長机 1班3脚×12=36脚 運営3脚 来賓・事務局4脚 合計43脚

○生徒イス 84脚 運営15脚 来賓・事務局12脚 参観者30脚

○プロジェクタ マイク パソコン

○DOはぐセット 12セット

○付箋、筆記用具、ペン、体育館平面図、学校周辺地図、校内平面図、各教室のプリント

5-2 (1) 2年生 展 開 案 「起震車等の体験」 1 コマ 場所【前庭およびグラウンド】

(1) (2) を入れ替わりで体験、講座を受講する。

	学習活動	教師の支援と留意点	評価
つかむ 3分	1 時間目終了後 グループごとに靴を履き替え それぞれの場所へ移動し、担当の方にあいさつして 見学、体験をする。 ・1組→3 グル 2組→2 グルを編制【前半体験】 ・3組→3 グル 2組→2 グルを編制【前半講座】 ※2組は前後半に分かれる。	【学年防災担当】を中心に生徒を誘導、 ローテーション指示 校地敷地図配布	
考える 45分	① 伊達 起震車体験 ②自衛隊 4台 ③消防 3台 ④警察 2台 ⑤開発局 2台 5 グループを7～8分のローテーションで見学体験 ※見学、体験後リーダーは <u>担当の方にあいさつをしてローテーションする。</u> ローテーション順は、別表参照		
まとめ 2分	・それぞれ、担当の方の話を聞き、災害時や災害復興時に活躍する車両を、実際に見学したり、体験したりする。 ・終了後 視聴覚室へ移動する。		

【準備物】

○ローテーションの表 ○プラカード（移動位置がわかるように） ○車両場所案内地図（簡単なもの）
○ワークシート ●拡声器 ●タイマー 移動指示を出す人

5-2 (2) 2年生 展 開 案 「災害時のスマホ教室」 場所【視聴覚室】

	学習活動	教師の支援と留意点	評価
つかむ 5分	生徒は、自分のイスを持って、視聴覚室へ移動 ・ソフトバンク講師による講話 講師紹介【学年の担当者】 1, 緊急地震速報について 2, 省電力モードについて	講師 ソフトバンク 「情報モラル教室」 担当【東 さん】	
考える 40分	3, 災害時の情報収集について 4, ラジオ、スマホでの情報収集 5, 安否確認の方法について 6, 防災アプリの紹介		
まとめ 5分	7, 恵庭市の避難所を探そう 8, お礼の言葉 <u>学年代表 ①[]②[]</u> 終了後 <u>教室へイスを戻し</u> 、グループごとに前庭へ移動し、車両見学を行う。		

※前後半入れ替わり 2 コマ終了後 2 年生は各学級で帰りの会を行い、下校する。

※多少時間が延びる可能性があります。2 年生は時間を合わせて終わり次第下校させてかまいません。

【準備 2 年部が中心となって】

○グルーピング ○プロジェクター、パソコン、マイク ○i P a d 貸与（ソフトバンク 9 台）

5-3 3年生 展 開 案 「防災食調理体験」【調理室、被服室】

※非常食レシピを参考に、ハイゼックスを活用した調理体験

※調理と試食は各クラス調理室、被服室分かれて調理を行い、加熱は調理室の大鍋で行う。

	学習活動	教師の支援と留意点	評価
つかむ 5分	・災害時の食事について知る。 クックパットの検索数など - 講師紹介【学年防災担当】 ・ハイゼックスでの調理方法を知る。 全体[被服室]で、説明を聞く。 ★1組は、調理室のイスを持って、被服室へ ☆グループ 各学級の生活班を活用する。 ご飯2班・炊き込みご飯2班、 卵料理2班・	講師 防災教育アドバイザー 土屋氏 根本氏 延与さん（栄養教諭）	
考える 100分	・調理開始 ○加熱している間は、ワークシートを活用し、災害時の食事について、班で交流する。 ・試食する 皿、はしは各自持参 皿にはラップを巻く	・民生委員さんの協力を得る	
まとめ 5分	・災害時の食中毒、食品衛生について知る ・感想や災害時の食事についての交流 (・お礼の言葉 各学級代表[][])		

※終了後 3年生は各学級で帰りの会を行い下校する。

【準備】

☆グルーピング 各学級各班で実習を行う。

○ガス台8 ○ハイゼックス ○ラップ ○食材（メニュー検討中）

○大鍋 ◎エプロン、三角巾、皿、箸、スプーン【各自持参】

○被服室（調理室となり）を調理部屋にするので、衛生上 テーブルクロス・床にブルーシートは購入予定

6. 昼食 炊き出し車による配給（1年生対象）

食事場所 体育館 ※防災マットを敷いておく、または、DOはぐの長机をそのまま食事場所で行う

（1）必要物品 カレーライス食材およびご飯 250食分

18日または19日の自衛隊へ納品【発注 延与さん】

期日、食材、時間を市教委へ連絡 [18日（木）10:30～11:00頃予定]

（2）配給方法および流れ

- ・体育館玄関前に炊き出し車を配車および調理を行う。（自衛隊の演習の一環）
- ・体育館で食事、食器、スプーン、紙コップは各自持参し、避難所のようにラップを巻いて洗い物を出さない。（また、洗い物の時間短縮）

（3）会場図【別紙参照】

（4）留意点

アレルギー対応 1年生 アレルギー該当者 1名 牛乳なので問題なし

ごみの始末

P T A、C S、民生委員の配膳協力体制（お玉、しゃもじ）

7-1 1年生 展 開 案 「避難所運営ロールプレイ」2コマ

※受け入れ側、避難者に分かれ、地域自治会の方と避難所設営を体験する。

	学習活動	教師の支援と留意点	評価
つかむ 10分	○DOハグで学んだことを地域の方とロールプレイしてみよう。 「リアルDOはぐ」の説明を聞く それぞれの持ち場へ移動 スクリーンのイベントによって、各グループが検討し、活動する。 想定 秋、夕方、停電、断水 道路は通行可能・物資は届く・・・	流れ 防災担当 説明 土屋さん 根本さん 停電の設定で行うが、校内放送は指示徹底のため使用可	
考える 95分	地域の方と中学生が協力して、避難所を作っていく。 運営管理G・・・避難者の受付、誘導、非常電源設置 施設管理G・・・居住区割、防災マット、ベット 食料物資G・・・物資の受け入れ、配布案 情報・救護G・・・けが、傷病の対応、炊き出し協力 情報収集および発信 衛生G・・・居住区割協力、簡易トイレ設置 グループごとに、各イベントについてどのグループ担当するか検討し、どのように対応したらよいか、実際に活動する。 ○お礼の言葉 2組[代表委員]	自治会の方とともに、考え、避難運営について検討し、結論を出したり、実際に活動したりする。	
まとめ 5分	○活動終了後、教室へ戻り 体験したこと、困ったこと、よかったことを班で交流し、まとめとする。		

※終了後 各学級で帰りの会を行い下校する。

自治会、CS、民生委員の方（生徒とともに活動する方）には、名札を準備する。

以下【土屋さんより依頼】

（学校への依頼事項）

項目	内容・数量等	目的
学校平面図	各グループ1枚 (模造紙程度の大きさ)	・各カードの内容を付箋に書込み、検討結果を落とし込む
ゲーム条件	・16～22 ページ 各グループ1枚 (A4)	・生徒がゲーム進行中適宜確認できるよう各グループに配布
パワーポイントシナリオの編集	・11～14 ページの学校間取図を柏陽中学校の間取図に変更してください。	・元データは、北郷小学校の間取図になっており、当校では、避難所開設時に学校教育の早期再開を見越して普通教室への避難を制限する想定のため、普通教室の使用を禁止しています。 ・柏陽中学校での避難所開設時の想定等があれば、適宜条件を付して、現実に即した設定にすると良いと思います。
ゴミ袋	・ゴミ袋 ・A4 用紙 ・テープ類	「イベント2」 ※A4用紙は、分別用の張紙。テープ類により壁への貼付けを想定
模造紙	1 枚	「イベント8」
段ボール	5個	「イベント13」

(患庭市で対応)

項目	内容・数量等	目的
ロールマット	16枚	「オプション1」
ポータブルストーブ	・学校備蓄品 2台	「イベント3」
スケッチイレ	・学校備蓄品 2台	「イベント4」
発電機	1台	「イベント7」
投光器	1台	「イベント7」
コードリール	2台	「イベント7」
エンジンオイル		※発電機用。事前給油
段ボールベッド	4台	「イベント10」

(道で対応)

項目	内容・数量等	目的
プライバシーテント (道備蓄)	2台+2台	「オプション1」
※パン	600個 (山崎パン・ロバパン提供)	「イベント9」
クラッカー	140食	(「イベント9」)
段ボールベッド	4台	「イベント10」 <u>※16日 4台搬入</u>